

会山行報告書

通算山行NO	NO. 339B	報告者	後藤隆徳
年月日	2007年02月25日(日・晴)	2万5千	柵池・雨中
山名	北アルプス・白馬乗鞍岳(2469m)～風吹大池～北野		
体力度=5・厳しい 技術度=4・やや難しい 藪漕度=少しある 道標=部分的にある 展望度=サイコー ルート=5・難しい			
<b>長く厳しい尾根が続く</b>			
コース とタイム	柵池ロープウェイ8:00-柵森発8:40-天狗原-白馬乗鞍岳11:30 ~40-天狗原-フスプリ山14:30-風吹大池15:30-1477m峰 16:10-林道17:00-北野18:00-タクシー-柵池-静岡24: 00		
標高差	上り=柵森1575m~白馬乗鞍岳2469m=約900m 下り=白馬乗鞍岳2469m~北野=(単純標高差)約1776m(上り返し 多い)		
参加者	CL・後藤隆徳、加藤秀子、(白馬乗鞍から参加=木村充彦・静岡こまくさ)		

冠は「定年記念山行」「還暦祝い山行」だった。所が「還暦」は超「過激」な山行となった。

前夜は久しぶりに「信州の万年青年」桑さんちの山荘に泊まった。大いにやりたかったが、21時に横になった。しかし、同宿の新潟の連中がウルサイウルサイ。

翌朝は無風快晴。今日はいい日の予感だったが、、、。柵池ロープウェイの始発は8:00。以前7:30だったが、山屋に30分の差は大きい。

柵森の積雪はまあまあ。トレースがあるので楽に上る。壺足もある。会の人達もたまにはこんな山も楽しめばと思う。元気者のボーダーが3人いた。スノーシューでガンガン上る。「俺も遂に60歳か、、、」と思った。

天狗原は風もなく静か。ボーダーのトレースを追う。ここで後ろから来た方に声を掛けられた。加藤のザックの「静岡・山スキーの会」を見たのだ。「静岡こまくさの会」の木村さんと言った。ハクノリ(白馬乗鞍岳)から待望の滑降。上部はサイコーの雪だ。ボーダーは小蓮華岳まで足を伸ばしたので、我々がトップだ。木村さんも結局、風吹大池に同行することになった。

天狗原から滑降しフスプリ山を上り返す。雪が深くラッセルが大変。ここから東にルートを取り風吹大池に向かう。緩斜面・上り返しが多く苦勞の連続。このルート



白馬乗鞍(ハクノリ)の滑降



2月の風吹大池

びスキー。スキーを背負ったり、シールを脱着したり時間が掛かる。17時だ。加藤、木村さんの作業が遅いので楸を飛ばす。この下でようやく林道に出る。

これでビバークは何とか逃れられそう。登山を始めて42年、「下山遅れ遭難」は避けたい。不名誉な記録は残したくない。所がこの林道が長い。昼間ならショートカット出来るが、忠実に下らなければならない。おまけに足はギシギシ、膝はヨレヨレ。久しぶりに超ハードな山だ。

18時日没寸前、北野集落に待つタクシーの灯りを発見。「スキーよ、あれが帰還の灯りだ」だった。一生忘れえぬ「還暦山行」、いや「過激山行」でした。

をトレースするには2月は厳しいかも。時間は容赦なく過ぎる。風吹大池を通過。「2月到这里を見た人は少ない」まあ、「還暦山行」としては相応しいが、...

ようやく1477m峰に達した。ここから楽と思いきや、何とこの先は大きな崖で、雪が少ないことも相まってスキーが出来ず、とうとう歩きで下る。

100m程くだり再



山スキーは厳しく、そして、美しい